

和字二年一月二十三日 第三種郵便物認可  
和十五年九月二十五日 印刷 納本  
和十五年十月一日(毎月一回一日發行)

禁轉載

# 道路の改良

第二十二卷

第十號

社團  
法人

道路改良會

鋪裝報國

鋪

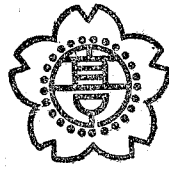
東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

社長 淺利三朗

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・橫濱・名古屋・京都

土木建築  
道路鋪裝  
工事請負



株式會社  
高野組

本社

東京市京橋區京橋一ノ二

電話 京橋(56)一九二三番

大阪出張所

大阪市北區梅ヶ枝町一五七(梅ヶ枝ビル)

電話 北(36)一九五六番

福岡出張所

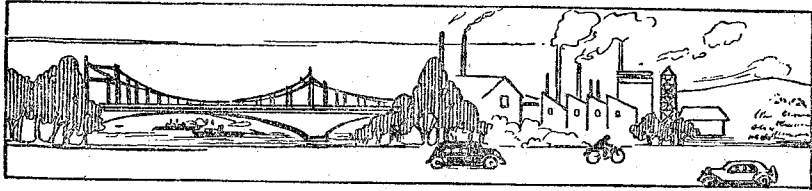
福岡市外箱崎町白濱網屋三一二一

電話 東三三四五番

上海出張所

上海吳淞町一八九號

電話 四三二一三番



道路の改良 第二十二卷 第十號目次 昭和十五年十月一日發行

口繪

大堀橋 滋賀縣

卷頭言

論 說

本邦に於ける道路交通事故

慶應大學教授 增井幸雄(三)  
經濟學博士

研 究

ナチス・ドイツに於ける道路法制(四・完)……………内務省 永森義忠(二)

說 苑

歴代内務土木局長と其時代(八)小橋一太氏……………清水生(三)  
木炭瓦斯發生爐を装置せる輾壓機の性能に就て……………熊田隆治(吾)

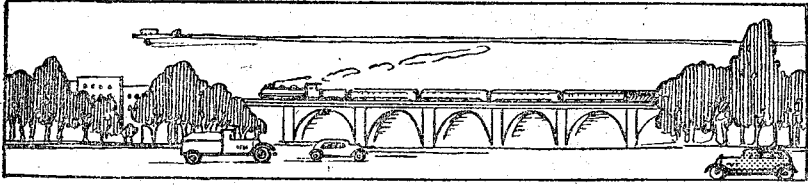
群馬縣土木課長

「道路ト鐵道トノ交叉方式並ニ費用分擔ニ關スル

内務、鐵道兩省協定」の運用に就て……………内務省 齋藤兵吉(吾)

獨逸モーター化の新しき進路……………M T 生(六)

日本海の孤島隱岐の島に就て……………島根縣廳土木課 柳樂義雄(其)



時局日誌 (三十七) ..... Y H 生 (全)

内務省特報

◎内務省告示◎地方長官會議開催◎新體制準備會第一回會議に於ける近衛首相の聲明發表せらる..... (101)

海外事情

◎米合衆國ペンシルヴァニア州に於ける立體的な交通整理  
◎獨逸軍の機械化に就て..... (102)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例 ..... M K 生 (二六)  
逐條土地收用法資料 (二二) ..... 高坂孝 三 (三五)

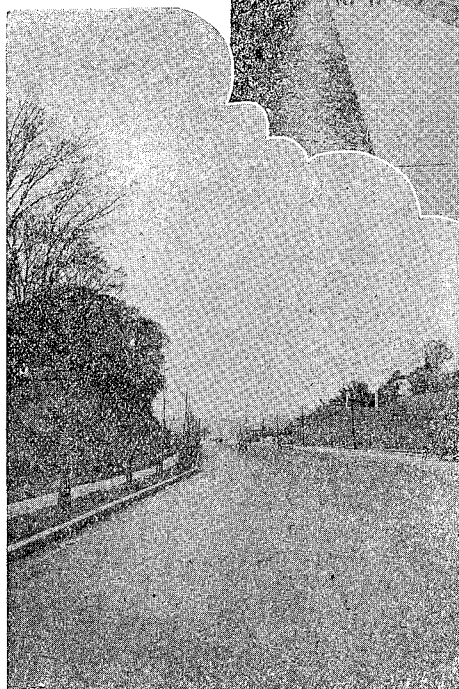
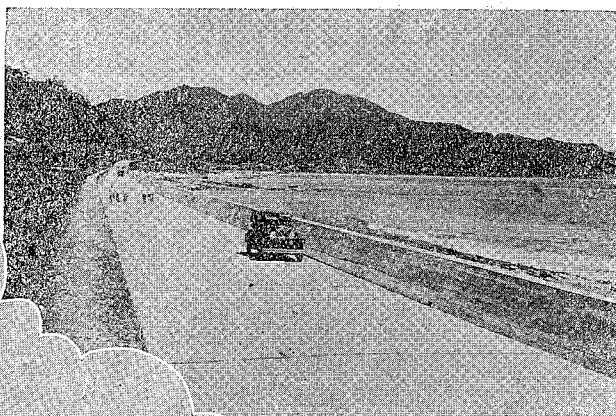
路政春秋

立つなステップ、ふさぐな出口 ..... 其他 ..... (三五)

雑報

◎道路功績者の表彰◎評議員及理事、監事選任◎第七回全國都市問題會議總會  
◎内務省土木試験所談話會◎評議員渡邊勝三郎氏◎中村榮次郎氏◎近刊圖書雜誌(交換寄贈) ..... (二四)  
叙任辭令 ..... (二五)  
編輯室の外 ..... (二五)

静岡縣由比國道  
ペロセメント使用



↑大宮街道志村附近  
淺野セメント使用

早 強  
アサノ  
ペロセメント

強度 高ク  
硬リ 早ク  
使テ 經濟

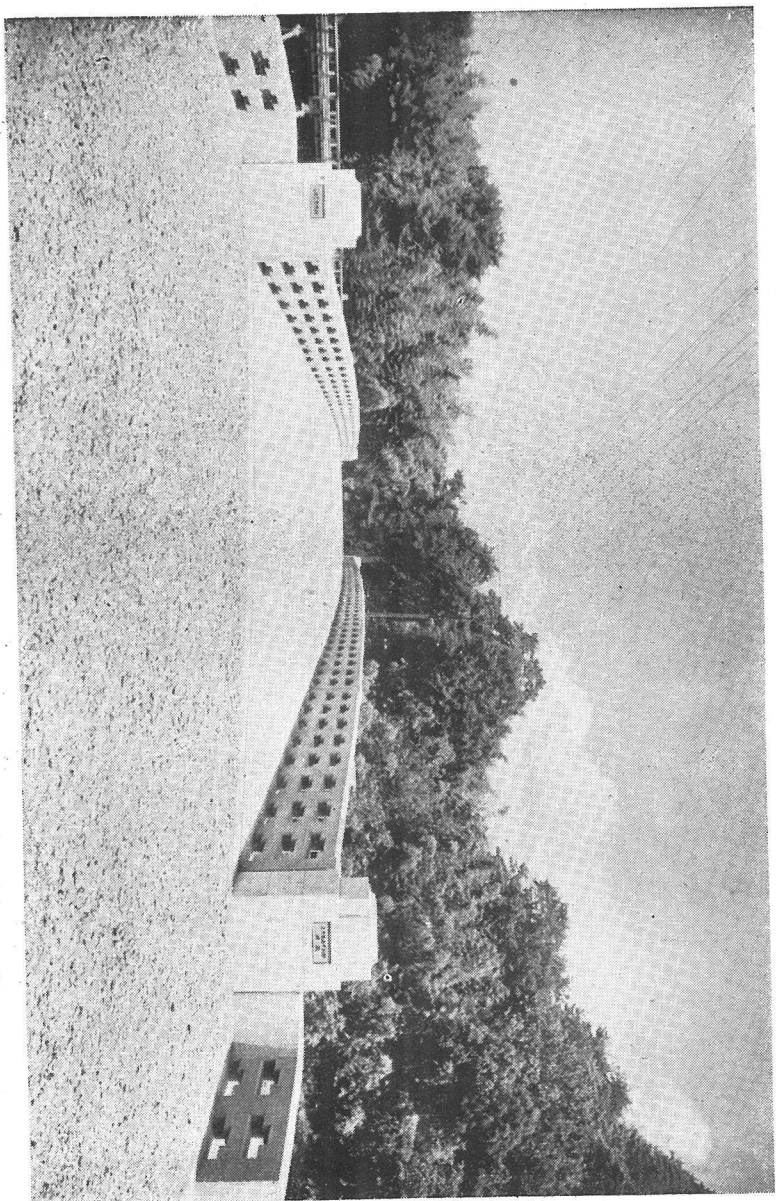
—説明書御申込次第送呈—

淺野セメント株式會社

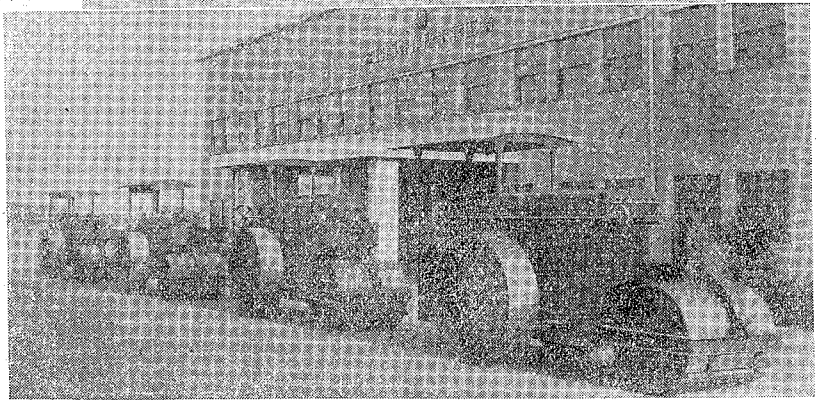
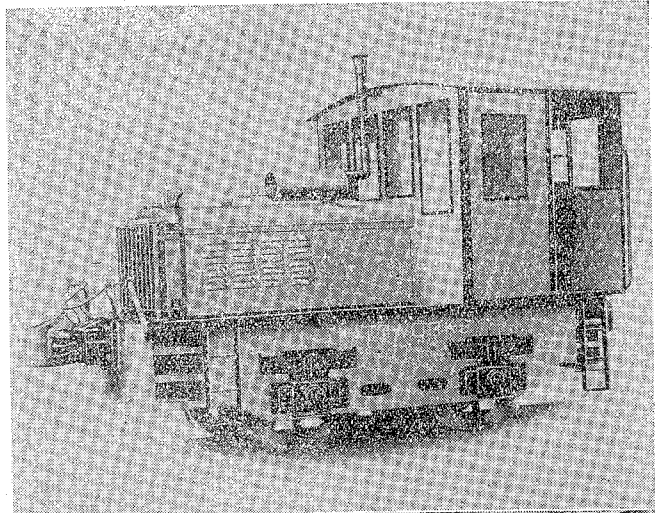
東京市 丸ノ内 海上ビル

# 大堀橋

滋賀縣



所在地 國道8號線彦根市大堀町芹川架設 橋長 72.0米有効幅員 6.0米 斜交 60度  
型式 鐵筋コンクリートT型橋 1徑間 12.0米ノモノ6連 工費 42,892圓 竣工 昭和15年8月



弊所加入工業組合名

商工省認定ニヨル日本機械製造工業組合聯合會所屬

日本産業用車輛製造工業組合

## 株式會社 加藤製作所

本社 東京市品川區大井鉸洲町二三三

電話高輪(44) 3560・3561・1808・6605

千葉工場 千葉市稻毛町・蒲田工場 東京市蒲田區梶谷



訂補重版出來

# 道路職員必携

三五刊  
レザークロース装函入  
總頁數 一千百餘頁  
定價 金 五圓  
送料  
内地 壹部 金 十四錢  
朝鮮、臺灣、樺太、  
關東廳、中華、滿洲  
壹部 金 十八錢

本書は道路改良計畫竝に其の設計の指針として、本會が特に道路技術並行政の權威者に執筆を依頼し完成したるもので、別記目次の如くその内容の豊富にして充實し居ること、其の記述精緻を極め居ること携帯に便なるハンドブックなること、印刷裝幀鮮麗にして優雅なること、道路構造令、街路構造令の細則に付きても記述せる點等に於て、我國にては未だ其の比を見ざる出版であり斯界人士の必須書である。

## 目次大要

第一編 總論	第一章 道路經濟統計	內務事務官 武若時一郎
第二章 交通道路車輛調查	內務技師 小永野田	六年
第三章 道路設計	內務技師 岩澤忠	六年
第四章 道路設計	內務技師 永田恭	六年
第五章 交通整理及街路照明の施設	內務技師 佐藤利恭	
第六章 都市計畫街路	內務技師 磯谷英一	
第七章 道路材料	內務技師 西田榮三	
第八章 維持及修繕	內務技師 高田榮三	
第九章 砂利修繕	內務技師 高田榮三	
第十章 砂利修繕	內務技師 高田榮三	

第三編 土工  
第四編 道路の排水設備

工學博士 眞田秀吉  
大阪府土木部工務課長 長久保俊夫



# 土木實務者の獨修書

# 實業土木講座

初級と上級

## 中等程度

### 秋期新學期開始 新會員大募集

一億一心。實力養成。技術は即ち力である。世は技術時代。土木は國本的技術。土木技術は高度國防の基本的一環である。

新東亞建設の第一歩は土木日本の大陸進出に在り。行け！ 土木家は大陸に!!! 國力伸張のため將た東亞興隆のため。土木を以て身を立てんと欲する人のために、島國日本より大陸日本へ進出せんと欲する人のために、本講座を捧げる。

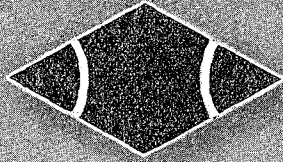
- ▼ 兩講座共初代内務省土木試驗所長、元東京市土木局長牧彦七博士の綜覽下に、内務・鐵道・農林・遞信四省、東大・日大・興亞院・滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時需の最良書である。
- ▼ 初級講座には土木製圖・測量學・應用力學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水力・都市計畫・水道・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一冊配本。會費金壹圓五拾錢前納。全卷即時配本可能。
- ▼ 上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工・河港及運河・基礎工・擁壁工・農業土木・航空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土地質學・土工學・監督・續土木工事監督・土木行政法網要・應用電氣工學等あり。毎月一冊配本。會費金壹圓七拾錢(但第十三號に限り金貳圓)前納。全卷即時配本可能。
- ▼ 送料每卷市内六錢、地方十四錢、臺・樺・鮮・南洋・滿・支各二十錢各自負擔。
- ▼ 申込期限は來る十二月十五日。期限内申込には特典があります。

### 内容見本無代進呈

東京市世田谷區上馬町一ノ六五九番地

日本土木工學會

振替東京二〇八三四番



# アスファルト

ウォーターアスルト

スリートアスルト

スプリングアスルト

ブロンクスアスルト

小倉石油株式会社  
専属販売店

株式  
會社

## 南部商會

本店 東京丸の内三義六号館・電話丸の内 1654-5014  
出張所 名古屋市中区南大津通東陽ビル・電話中国 27 85 番



重五装舗路道トルアブスア

重五装舗トルアフーターオウ割乳青瀝

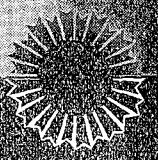
賣販理代トルアフーターオウ・トルアブスア倉小

賣助造製グソイフールヒサア

**社 會 式 株 本 工 市 都**

地 番 二 百 一 十 一 橋 京 區 橋 京 市 京 東

番 八 六 二 二 56 橋 京 話 電



昭和十五年

道路の改良

十月一日

第二十二卷

第十號

「永遠なる日本よその未來に幸あれ」とは獨逸伯林大學教授シュプランガー博士の我日本に興へたる祝福の言葉である、吾人日本國民は然かあらしむとの確信を有するや否や、今や革新の氣運が漸く我國の政治を支配する所となつた。平沼首相をして「全體主義國家群、民主主義國家群とそれぞれ世界はプロツクを形成してゐるが日本主義は之らの何れでもなく亦之らと對立するものではない」と高唱せしめた所謂日本主義また一君萬民政治は近衛公に依りて八紘一字の皇謨に基き東亞の新秩序を建設し以て世界の平和の確立に寄與し、萬民各々其の職分に奉公し和衷戮力以て大政翼贊の巨道を完ふせんことを期すとの企圖が策せられた即ち大政翼贊運動が實踐せらるゝこととなつた。

斯の革新運動は封建制度の全面的崩潰を期するものとは其の趣を異にし欽定憲法の條章を遵奉するの條件の下に許されたるものである。而かも日支事變即ち東亞新秩序の建設といふ一大使命を遂行しつゝ之と併行して國內革新の途を辿るものである、加之又世界的一大轉換に際し其の必然的動向を洞察して之に應ずるの國是を完遂し最高度國防體制を完成し行かねばならぬ、簡言すれば有史以來の一大試練に直面しての革新運動なのである、従つて此運動の指導者は自ら謙遜と寛容と正義と敬虔と服従と捨我と犠牲と剛勇と一致と責任自覺といふ精神的具現化を以て政治道德、經濟道德、社交道德を實踐しつゝ全國民を善導し行かねばならぬ。

凡そ指導の任に在る者、推進力源泉の位地に在る者の獨善自大已れ獨り高しとする恭謙ならざる心構は實に危険千萬である、彼のを過重視して之に依存することの愚劣なることは勿論であるが去りとて自己を過大に評價し倨傲自ら居ることは極めて曲事なれば深く憤しむべきことである。國に在りても個人に在りても斯る反撥の心情を持つことは先づ以て反省するの要がある、萬一にも不心得なる者ありて自己の立場を省みることなく苟くも我が意に充たざる相手に對し妄りに自由主義者、資本主義者、個人主義者と速斷し彼に對して嘲笑罵詈訛するが如き行爲に出づるものあるに於ては假令下級の位地に在る者の所爲とするも之れ寔に由々敷き大事にて大政翼贊運動上に少からざる疑惑と阻碍を與ふることなきを保し難いのである、曾てヒツトラー總統は文化は個人の種々性の産物で國家は個人の自由や個性に重きを置きて其の國家の本質が國民文化に在ることを思ふべきであると説いて居る、また以て他山の石と爲すに足るのであらう。吾輩は念ふ、誤れる者を正し、眠れる民を起せよ全體主義の名の下に獨尊の理念を禮讚するが如きことあつてはならぬと。(九、一二 洸民)